

平成十七年六月、財団法人斯文会 刊。B 6版171頁。

MY古典—親と子の東洋古典教室—というシリーズの一冊として刊行されたもの。このシリーズの刊行者は、今日の日本の現状を憂えて、

「政治の混乱、経済の低迷、学校や家庭の崩壊等、今日わが国はかつてない憂うべき社会状況に陥り、人心の荒廃も目に余るものがあります」と述べ、これを打開するために、「古来日本人の精神を築き上げて来た儒教を主とした古典の意味を見直し、これを人間教育の拠り所とすべきであると考え」て、東洋思想の真の姿を後世に伝えるために東洋の古典を刊行するという。

本書は、王陽明のキーワードとなつている言葉十一を、十二の項目（「抜本塞源論」だけは二つにわけてあるため）として、訓読文こそ載せているものの、一般の人が分かるように平易に解説しており、これを読むことで、王陽明の思想が理解できるようにしてある。「親民（民を親しむ）」「格物（物を格す）」からはじまり、「抜本塞源論」で終わる。この項目に、それぞれ余話がついていて、これは、佐藤一斎、大塩中斎から始まるが、ここにあげられた十人の日本の陽明学者のエピソードを、中江藤樹から西郷南洲まで、時代順にならべると、日本の陽明学簡史を呈しており、陽明学のいい入門書である。

本書の著松川健二先生は、二松学舎大学陽明学研究所長を三年前まで勤められた。その面で、打ってつけの方である。

○小林日出夫 編『陽明学一〇〇のこころ』

平成十六年十二月、未来塾刊。B 6版、263頁。

「リーダー達の行動哲学」というサブタイトルがついているように、編者は、現代の価値観の多様化と道徳観の混乱のなかにある世の中に、次の世代を担う人々のための行動哲学として、陽明学に生きた人の言葉を、〇〇示して、そこに心に適った一言を見つけたいただきたいという。

このような意図のもとに、三十四人の思想家（中国人十八人から五十八、日本人十六人から四十二）の言葉を選んで解説を加えたもの。最後に簡単な研究書案内がある。

言葉の採録に、王陽明から二十五というのは当然として、安岡正篤から十五採られているところに、編者が岡田武彦先生と本書出版について企画した際の思いが読み取れる。

○王暁所・李友学 主編『王学之魂』

二〇〇五年九月、貴州民族出版社刊。A 5版、387頁。

本書は2002年一〇月に、中国、貴州省の貴陽（修文県）において行われた第2回陽明文化節及び陽明學術研討会において発表され、収録されたものに、近年編輯している『貴陽王陽明研究会会刊』の中から選ばれた論文を編集したもので、三十三篇より成っている。編者の王暁所氏は貴陽王陽明研究会会長。

李友学氏は同副会長である。

内容は、次の通りである。

王暁所「良知与和諧社会」（代序）

劉学沫・史繼忠「文化之峰起黔山」

吳雁南「心学大師王陽明」

湯恩佳「陽明學說与孔儒思想」

張新民「探尋真實的存在与存在的真實」

——王陽明心學視域下的靜定・立誠与格心」

徐明德「王陽明对中国心性哲學的詮釋」

高予遠「王陽明良知思想对“四書”的繼承」

周松柏「試析陽明心學反叛傳統的主体自覺」

程志華「建構主体的價值取向——論陽明心學的啓蒙思想」

劉宗碧「陽明學与日本明治維新運動」

金世貞「全球性生命危機与陽明學的作用」

劉宗棠「仏教禪學与陽明心學」

葉遠厚「儒家思想自得維度詮釋」

夏之奎「朱熹理學与陽明心學同異之弁」

李堯耀「陽明心學与西方現代理性」

張克偉「記王陽明父子夢兆二三事」

余懷彥「王陽明与席書」

王煜「王守仁对潮州状元林大欽的感染」

黃卓越「張居正与王學關係之考弁」

錢明「関于王陽明若干史跡的調查与考弁」

李友學「黔中王門是陽明後學的重要學派」

李迎喜「黔中王門系統考」

王路平「西部大開發与“黔中三寶”研究」

諸煥燦「王陽明貴州教育活動与西部開發」

洪禹欽「由王陽明謫居詩看他的童場生活」

陳新国「誦王陽明《居夷詩》」

熊宗仁「陽明文化与修文県形象品牌的打造」

楊炯鑫・肖進原「陽明文化与修文旅遊美學」

竜平久「論貴州陽明文化圈旅遊開發的人文資源價值」

盧祥運「貴州陽明遺景的特色」

李平「談陽明文化旅遊資源開發」

張清河「王陽明貶謫童場漫話」

著者は貴州大学、貴州師範大学や貴陽学院などの教授、また地元の社会科学院の研究員等地元の人が大半である。しかし陽明の出身地である浙江省（杭州）の社会科学院や余姚の人等、外国からは、韓国から金世貞（忠南大学）、洪禹欽（嶺南大学）がいる。

本書は、次の二書のをとを以て出版されたものである。

○《王學之路》編輯委員會編『王學之路』

——中国貴陽99陽明文化節暨王陽明學術討論會論文集——

二〇〇〇年一二月、貴州民族出版社刊。A5版、494頁。

○『王學之思』（1999年8月刊）

——紀念王陽明“童場悟道”四九〇周年論文集——

一九九九年八月、貴州民族出版社刊。

貴陽的王陽明研究会及び陽明文化節・王陽明學術討論會等については、『王學之路』の附録にある李友學の「中国貴陽99陽明文化節暨王陽明學術討論會會議紀要」、王曉昕の「貴陽王陽明研究会第一屆理事會工作報告」に詳しい。

○修文県地方志弁公室 編『王陽明在龍場』

二〇〇二年九月、貴州煤田彩印廠印刷。A5版、212頁。